

現代の理論・社会フォーラム経済分析研究会

第44回研究会のご案内

21 世紀のインドネシア経済

ー成長の軌跡と構造変化

今、インドネシアが注目されています。経済の成長は目覚ましく発展途上国から中進国入りを果たし、OECD（経済協力開発機構）加盟に向けた協議を始めました。先進国の工場進出を受け入れ、東アジアの中でサプライチェーンの中核的位置を占めるほど成長させたためです。世界第4位の人口を抱えていることもあり経済規模はさらに拡大し、ASEAN のみならず世界の中で存在感をさらに高めると見られています。しかし、他方でそれまで主力産業だった農業や鉱業などの産業の構造変化などによる歪みなど多くの問題を抱えています。

今回はインドネシア経済研究の第一人者である加納啓良氏にインドネシア経済の先行きを論じていただきます。

また、ビデオ通話ツール zoom によるオンラインでの参加も可能といたします。オンライン参加ご希望の方は経済分析研究会 HP から申込みをお願いいたします。

◎日時：5月11日（土）14～17時

◎場所：専修大学神田校舎1号館8階8B会議室

◎講師：加納啓良氏（東京大学名誉教授）

◎資料代：500円（会員は無料です）

加納 啓良氏のプロフィール

1948年東京都生まれ、経済学博士（東京大学）。70年東京大学経済学部経済学科卒、71年アジア経済研究所に勤務、80年東京大学東洋文化研究所助教授。91年同教授、2012年同名誉教授。著書に『インドネシア農村経済論』（勁草書房、1988年）、『現代インドネシア経済史論ー輸出産業と農業問題』（東京大学出版会、2004年）、『【図説】「資源大国」東南アジア世界経済を支える「光と陰」の歴史』（洋泉社、2014年）、『インドネシア21世紀の経済と農業・農村』（御茶ノ水書房、2021年）など多数。



お問い合わせは現代の理論・社会フォーラム事務局

TEL 03-3262-8505 まで

E-mail: nc@keizaiken.sakura.ne.jp まで

経済分析研究会

検索

